

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税） 事業効果検証シート

NO.	1	担当課	総務課
認定された地域再生計画	十島村PRプロジェクト	事業名	十島村政等PR事業
総合戦略での位置付け	【基本目標】 島への新しい人の流れをつくる 【個別施策】 村政・観光PR 十島村の知名度を上げることで、十島村を旅行先としての選択肢に加える人が見込まれ、観光入れ込み客数の増加につながる。さらに、定住者増加に期待できる。		
KPI	重要業績評価指数（KPI）	基準値	目標値（H32）
	移住者数（本事業が起因）	—	26名/累計
本事業での重要業績評価指数（KPI）	移住者数（本事業が起因）	指標値（H28）	1名
		実績値（H28）	0名
		達成度	0%
事業概要	本村の定住支援制度等を新聞等のマスメディアを活用し広く周知し、定住希望 面談回数の増加、及び移住者の増加を図る。また、当該事業の財源については、 企業から寄附を募り、事業費に充てることとする。 本村は“最後の秘境の地”とも呼ばれ、豊富な観光資源を有するとともに、全国でもトップクラスの定住 支援制度はあるものの、他離島と比べ知名度が低い現状から、移住希望者等の目に留まりにくく、定住希望 者の効率的な確保が行いにくい現状であることから、本村の定住に係る各種支援制度や村の情報を新聞等の マスメディアを活用し広く周知することにより定住希望者を増加させ、最終的には本村の人口増加に資する ことを目的とする。		
事業経費	【歳出】 広告料 2,732,000円 【歳入】 寄付金 2,732,000円		
歳出総額	2,732,000円	歳入総額	2,732,000円

有識者会議での結果

有識者会議での評価	①総合戦略のKPI達成に有効であった
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・初年度の目標は未達成ではあったが、現在4名の実績があり、まず評価できる。 ・今後、PR手段について関東、関西、奄美を視野に入れて多様な媒体を活用していく事も検討。 ・移住に向けて行動を起こすまでの途中段階にも目を向けていくべきではないか。 ・定住イベントの参加希望の問合せやふるさと納税の申込みなど、反響が出てきており、今後のプロジェクトの進捗に期待できる。 ・ターゲットの戦略や定住サポートなど、今後の改善も期待する。 ・ふるさと納税と移住者呼び込み政策は良い取組と考える。今後は移住者の呼び込み作戦に新戦略が必要と考える。 ・今年度は数値目標にとどいていないが、長期的な戦略で幅広い年齢、地域の人々にPRする必要がある。
<有識者会議での評価> ①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	

地方創生加速化交付金事業効果検証シート

NO.	2	担当課	地域振興課	
交付対象事業名	農林水産物産地化事業	交付金の種類	地方創生加速化交付金	
総合戦略での位置付け	P41_基本目標①（自然と共存する基盤産業を強化し、安定した雇用を創出する） ②優良作物の販路拡大と生産基盤整備 （ア）既存の優良作物の生産基盤強化 ③農作物のブランド化			
総合戦略のKPI	重要業績評価指数（KPI） P42	基準値（H26）	目標値（H31）	
	優良作物の作付面積	6.5ha	15ha	
本事業での重要業績評価指数（KPI）	農林水産物の生産額	指標値（H28）	0円	
		実績値（H29）	46,615,870円	
		達成度	#DIV/0!	
本事業での重要業績評価指数（KPI）	新規に開発した水産加工品数	指標値（H28）	2品	
		実績値（H29）	2品	
		達成度	100%	
事業概要	<p>村の推奨作物である「島らっきょう」「島バナナ」「サンセベリア」「非櫛」「大名タケノコ」の産地づくりを図るため、優良種・苗の確保、肥培管理に必要な肥料、防除資材を導入し、各島で産地化を目指す。</p> <p>また、水産物の高付加価値を目指し、商品開発を実施することで、一次産業の生産条件を整え、安定した生活基盤の構築による収益の確保を図る。</p>			
事業経費	生産組合基盤強化助成			
	優良種及び苗の確保	5,649,028円		
	産地化対策 ほ場管理	6,795,044円		
	水産加工品開発業務 水産物の高付加価値化	1,000,000円		
計画額	16,870,000円	実績額	13,444,072円	

有識者会議での結果

有識者会議での評価	①総合戦略のKPI達成に有効であった
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・優良な高付加価値作物は今後の事業展開に大きな期待ができる。 ・販路もあり、生産物の不足感から達成状況について一定の評価ができる。 ・次のステップとしてブランド化などへの取組を期待する。 ・加工品は販路を含めて、今年もっと多くの商品開発を目指す必要がある。 ・市場や消費者の声をもっと聞くことも大切です。 ・生産にかかわる人材を今後どう確保していくのかも合わせて検討してほしい。 ・トカラ産物の消費者のニーズに対応した（調査検討）販売出口の多様化をはかる必要がある。
<p><有識者会議での評価></p> <p>①総合戦略のKPI達成に有効であった</p> <p>②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない</p>	